

テーマによる意見交換	
テーマ	備えあれば憂いなし！火事や水害から地域を守るには
テーマの選定理由・目的	<p>火災や水害は、いつ私たちの身に降りかかるとも限らない。いざという時に大切な命と財産を守るためにには、日頃からの備えが不可欠である。</p> <p>そして、その備えを地域で支えているのが、消防団や水防団である。地域に密着した防災のスペシャリストとして火災発生時の初期消火や、水害時の警戒・避難誘導、そして復旧活動まで、最前線で活動してくれている。しかし、現在、これらの重要な役割を担う団員の高齢化や減少が課題となっている。</p> <p>火災・水害への備えとして、市民ができること、やるべきこと、そして市に望むことなど、市民の皆さんからご意見を出していただく。また、地域防災の要である消防団・水防団に関してのご意見や今後の活動を支えるためのアイデアを出していただく。</p>
市民の意見等	<p><u>1. 消防団・水防団の確保について</u></p> <p>1) 広報を工夫する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区のイベント（文化祭、消防祭りなど）で広報をする。 ・活動や実績をわかりやすく、具体的に伝える。 ・町内会の班長会等でPRする。 ・SNSで積極的に発信する。 <p>2) 体験・交流機会を増やし、参加を促進する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の時間を割いて参加しても良いと思わせてほしい。（消防団ってかっこいいとか） ・地域交流で身近に感じられると良い。 ・自治会の防災訓練に消防団・水防団も一緒に参加し、日常的につながりを持つ。 ・体験を通して消防団を身近に感じてもらう。 ・小中高生に体験をしてもらい、興味を持ってもらう。 ・まちづくり活動との連携を強化する。 ・消防団確保のために各地区推薦とする。 ・防災訓練で消防団や水防団を知ってもらう。 ・自治会において当番制で消防団を体験する。 <p>3) その他、成り手不足を解消するアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今以上の女性参加を促進する。

- ・会議等集まらなくて済むオンライン会員を設ける。
- ・人集め以前に、人数の適正、団の必要性を議論する。
- ・消防団は仕事や訓練が多く、負担が多いため加入者が少ないのでないか。
- ・自治会の世帯数に応じて消防団を出してもらう。

2. 火災・水害への備えについて

1) 個人での備えを充実する

- ・食品、簡易トイレ、服などの備蓄を充実する。
- ・個人で消火器を準備する。
- ・感震ブレーカーを設置する。
- ・火災報知機を設置する。
- ・防災アプリへ登録する。
- ・家の周りに燃えそうなものを置かない
- ・個人でボートを準備する。
- ・近所付き合いを良くし、情報の共有を図る。

2) 自治会での備えを充実する

- ・自治会内の消火器、消火栓の場所と期限を確認する。
- ・町内公会堂へ消火器を設置する。
- ・自治会内になる消防防水槽の使い方を改めて学ぶ。
- ・自治会で水消防器を準備する。
- ・防災道具を強化する。
- ・自治会リーダーの意識向上を図る。

3) 防災訓練等を充実する

- ・防災訓練では、火災活動ばかり、水害対策も必要である。
- ・各町内会の防災訓練をSNSで紹介する。
- ・各町内会の訓練の内容を各町内会間で共有する。

4) 水害に対する備えを充実する

- ・地域の河川の清掃を行う。
- ・内水氾濫が多いことを周知する。
- ・氾濫しない地域の人達に対しても、雨水浸透や貯留の必要性を周知する。

5) 要支援者の情報を開示する

- ・個人情報の関係で、近所の人たちのことがわからない。誰が介護を必要としているのかわからない。

<p>要望・提言等</p>	<p>1. 消防団・水防団の確保について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) インセンティブを設ける <ul style="list-style-type: none"> ・報酬やご褒美を出す。 ・市民税の減税をする。 ・報償費や費用弁償などをアップする。 ・消防団家族への慰労を行う。 ・経営者が事業税控除などのメリットを理解していない。 2) 担い手を育てる <ul style="list-style-type: none"> ・小中高生が消防体験できる機会をつくる。 ・ジュニア防災士を推奨する。 ・若い世代が参加しやすいように、活動内容（拘束時間、日）を柔軟にしたり、説明（報酬、支援制度等）をする。 <p>2. 火災・水害への備えについて</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 市からの情報発信を充実する <ul style="list-style-type: none"> ・防災アプリのさらなるPRを図る。 ・市が支援してくれる内容を発信してほしい。 ・広報ふじで火災の広報をする。 2) 情報共有システム等を構築する <ul style="list-style-type: none"> ・被害状況を市民が簡単に市に報告できるシステムを構築する。 ・市民と河川課との情報共有を図る。 3) ハード整備を推進する <ul style="list-style-type: none"> ・富士川の砂利をさらう。 ・道路の維持修繕を進める。 ・必ず水が出るところがあるのに市はなんとかしてくれない。 4) 設備の設置を推進する <ul style="list-style-type: none"> ・消火栓を増設する。 ・自己負担なしで浸透柵や貯留タンクが設置できるよう補助金を上げてほしい。
<p>その他事項</p>	